

システム全体に共通で関係する各種設定を行います。

■ 導入設定・規定値設定

項目名	設定値
1 導入開始日	/ /
2 決算月日	0899
3 入力可能年月日自	
4 入力可能年月日至	2999/12/31
5 受発注入力可能年月日自	2011/01/01
6 受発注入力可能年月日至	2999/12/31
7 税算出法	一括税
8 税計算方法	請求(支払)時外税
9 標準課税売上コード	課売
10 標準課税仕入コード	課仕
11 伝票初期表示担当者	マスター設定担当者
12 有効在庫に発注種別	全

【導入開始日】 ふくろう販売の本番開始日です。導入後に変更不可になる項目もあります。

更新 (F5) 取消 (F6) 終了 (F12)

設定方法:

画面起動時は、「導入設定・規定値設定」が表示された状態となっています。
(上部ボタンで会計連動設定との切り替えができます)

必要箇所を直接修正し、「更新」ボタン押下で設定更新となります。

「取消」ボタン押下すると、更新せずに入力内容がリセット表示されます。
「終了」ボタン押下すると、更新せずに画面を閉じます。

各項目説明:

項目名	必要時 設定	通常は 設定不要	説明 (下線箇所は選択値の初期設定値です)
導入開始日		●	ふくろう販売の本番開始日を年月日指定します。通常は導入時に設定されていますので、特に指定する必要がありません。
決算月日		●	会社の決算月日です。mmd形式で指定してください。(日部分は1~27,末日=99で指定してください)。 導入時設定済ですので、通常は設定変更する必要がありません。
入力可能年月日自	●		受注発注伝票以外で、これ以降の日付の伝票のみ登録を可とする年月日を指定します。誤登録を防ぐために使用します
入力可能年月日至	●		受注発注伝票以外で、これ以前の日付の伝票のみ登録を可とする年月日を指定します。誤登録を防ぐために使用します
受発注入力可能年月日自	●		受注発注伝票で、これ以降の日付の伝票のみ登録を可とする年月日を指定します。誤登録を防ぐために使用します。
受発注入力可能年月日至	●		受注発注伝票で、これ以前の日付の伝票のみ登録を可とする年月日を指定します。誤登録を防ぐために使用します。
税算出法	●		会計連動している場合に会計に流れる消費税の単位を、 <u>一括税(締切時税計算)</u> /調整税(明細毎税計算) から選択します。
税計算方法	●		得意先、仕入先の新規登録時の税計算法初期値を、 <u>請求(支払)時外税</u> /伝票毎外税/伝票毎内税/伝票明細毎外税/税計算なし から使用頻度の高いものを選択します。

各項目説明:

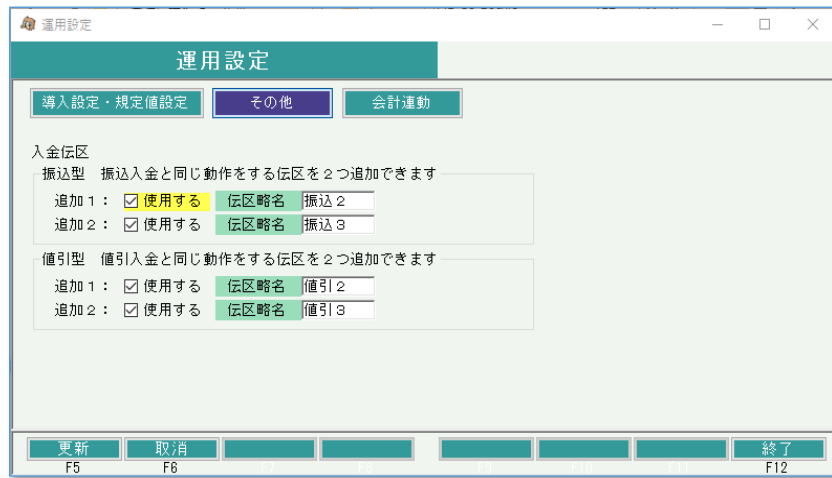
項目名	必要時 設定	通常は 設定不要	説明（下線箇所は選択値の初期設定値です）
標準課税売上コード		●	商品登録で初期表示される課税区分(売上)の初期値を課税区分リストから選択します。 通常は課税売上で設定されていますので設定不要です。
標準課税仕入コード		●	商品登録で初期表示される課税区分(仕入)の初期値を課税区分リストから選択します。 通常は課税仕入で設定されていますので、設定不要です。
伝票初期表示担当者	●		伝票新規登録時の営業担当者初期値を、 <u>マスター設定担当者</u> /ログイン担当者 から採用したい方選択します。
有効在庫に発注残含む	●		有効在庫の計算に発注残を含むかどうかを、 <u>含む</u> /含まない から指定します。
得意先別商品単価	●		受注、売上で使用する得意先別商品単価を、 <u>得意先別商品単価を使用する</u> /使用しない/数量別売上単価を使用する から選択します。
仕入先別商品単価	●		発注、仕入で使用する得意先別商品単価を、 <u>仕入先別商品単価を使用する</u> /使用しない から選択します。
倉庫を使用	●		各入力画面で倉庫を入力するかどうかを、 <u>する</u> /しない から指定します。
原価割れチェックをする	●		受注、売上登録時に原価割れチェックをするかどうかを、 <u>しない</u> /警告/エラー から選択します。 エラー選択だと、金額より原価が多い場合は伝票更新ができません。
在庫チェックをする	●		受注、売上・入出庫更新時に営業在庫数が最低在庫を下回る、または最大在庫を上回るチェックするかどうかを、 <u>しない</u> /警告/エラー から選択します。エラー選択だと、条件満たす場合は伝票更新ができません。
有効在庫を優先する	●		在庫チェック時に有効在庫でチェックを行います。
与信限度額チェックをする	●		受注、売上時に与信限度額を超えていないかどうかを、 <u>しない</u> /警告/エラー からチェックします
営業債権で与信チェックする	●		受注残を含めた営業債権で与信チェックするかどうかを、 <u>する</u> /しない から設定します。
伝票リレーで倉庫変更する	●		伝票リレー(受注→売上/発注→仕入)時に倉庫を変更するかどうかを、 <u>する</u> /しない から選択します。
入金個別消込する	●		入金登録時に自動的に個別入金消込画面を表示するかどうかを、 <u>する</u> /しない から選択します。 「しない」を選択しても、メインメニューの「個別消込」から消込画面を表示できます。
支払個別消込する	●		支払登録時に自動的に個別支払消込画面を表示するかどうかを、 <u>する</u> /しない から選択します。 「しない」とすると、元帳に消込情報も表示されなくなります。
受注入力で見積原単価を引き継ぐ	●		見積リレーで受注伝票を作成した場合に見積原単価を受注原単価に初期表示するかを指定します
受注入力で同時発注する	●		明細行で仕入先を指定している場合、更新時に発注入力を表示します。
売上で出荷区分を自動変更		●	受注→売上で分納があり、売上数量変更時に全数を一部に自動変更するかを指定します
売上入力を受注No入力必須	●		売上入力を受注Noの指定を必須にするかを指定します。
売上入力を受注原単価を引き継ぐ	●		受注リレーで売上伝票を作成した場合に受注原単価を売上原単価に初期表示するかを指定します
売上入力ですべて同時仕入する	●		明細行で仕入先を指定している場合、更新時に仕入入力を表示します。
発注入力を受注No入力必須	●		発注入力を受注Noの指定を必須にするかを指定します。
仕入入力を受注No入力必須	●		仕入入力を受注Noの指定を必須にするかを指定します。
仕入で入荷区分を自動変更		●	発注→仕入で分納があり、仕入数量変更時に全数を一部に自動変更するかを指定します
生産入力ですべて同時発注する	●		明細行で仕入先を指定している場合、更新時に発注入力を表示します。
一括税伝票の修正・削除する	●		「する」にすると売上入力、仕入入力ですべて請求時一括税・支払一括税の伝票を修正・削除ができます
原単価を発注・仕入単価にする	●		受注原単価、売上原単価を発注単価や仕入単価として表示するか指定します
棚卸評価法	●		商品の新規登録時に初期採用される棚卸評価法を、 <u>標準原価</u> /最終仕入/倉庫別移動平均 から選択します。
最終仕入単価を計算値で求める			棚卸評価法が最終仕入単価の場合、仕入金額÷数量の結果を採用するか、明細入力単価を採用するか選択します。
原価計算法	●		商品の新規登録時に初期採用される原価計算法を、 <u>標準原価</u> /最終仕入/倉庫別移動平均 から選択します。
在庫引落基準	●		在庫数を加減算する基準日を指定します。 <u>伝票発行日</u> /配達(入出荷)日 から選択します。
支払済伝票の修正	●		支払締切後、その締切期間内の仕入、支払データの修正を許可、 <u>する</u> /しない から選択します。

各項目説明:

項目名	必要時 設定	通常は 設定不要	説明（下線箇所は選択値の初期設定値です）
検索画面の事業所初期表示	●		各検索画面の事業所絞り込み条件の初期値を <u>絞り込みなし</u> /ログイン担当者の事業所 から選択します。
受注、売上入力の納品先検索	●		受注、売上入力の納入先検索の絞り込み初期表示を、 <u>絞り込みなし</u> /事業所で絞り込み/得意先で絞り込み から指定します。
受注、売上入力の商品検索	●		受注、売上入力の商品検索の絞り込み初期表示を、 <u>絞り込みなし</u> /事業所で絞り込み/得意先で絞り込み から選択します。
発注、仕入入力の直送先検索	●		発注、仕入入力の直送先検索の絞り込み初期表示を、 <u>絞り込みなし</u> /事業所で絞り込み/仕入先で絞り込み から指定します。
発注、仕入入力の商品検索	●		発注、仕入入力の商品検索の絞り込み初期表示を、 <u>絞り込みなし</u> /事業所で絞り込み/仕入先で絞り込み から選択します。
伝票検索画面、即検索実行	●		伝票検索画面の初期表示時に検索実行 <u>する</u> /しないを指定します
マスタ検索表示件数	●		マスタ検索画面の一覧表示件数を指定します。0に指定すると全て表示します。
伝票検索表示件数	●		伝票検索画面の一覧表示件数を指定します。0に指定すると全て表示します。
表示設定を担当者別に設定	●		入力画面の表示項目設定を担当者別に設定するか、しないかを設定します。
見積承認	●		見積伝票で承認機能を使用するかどうかを指定します。
受注承認	●		受注伝票で承認機能を使用するかどうかを指定します。
売上承認	●		売上传票で承認機能を使用するかどうかを指定します。
発注承認	●		発注伝票で承認機能を使用するかどうかを指定します。
仕入承認	●		仕入伝票で承認機能を使用するかどうかを指定します。
FB入金データフォーマット	●		FB入金データのフォーマットを選択します
FB入金請求先引当方法	●		FB入金データから請求先を引当てる方法を選択します
FB入金振込料自動計上	●		「する」を設定している場合「要回収額 - 振込額」を当方負担振込料に設定します。
FB入金振込料下限額	●		「FB入金振込料自動計上」が「する」の場合に振込料と判断する差額下限額を指定します。
FB入金振込料上限額	●		「FB入金振込料自動計上」が「する」の場合に振込料と判断する差額上限額を指定します。
メール送信ポート番号	●		メール送信で使用するポート番号を指定してください。
SMTPサーバ	●		メール送信で使用するSMTPサーバです。
生産入力メール宛先	●		生産入力のメール送信の宛先(To)のメールアドレスを指定します。
構成品MAX階層数	●		構成品を使用する場合、最大階層数を指定します(1~5)
単価の小数以下表示桁	●		伝票入力画面やマスタ画面の単価の小数以下表示桁数を指定します(0~4)
数量の小数以下表示桁	●		伝票入力画面やマスタ画面の数量の小数以下表示桁数を指定します(0~4)
重量の小数以下表示桁	●		伝票入力画面やマスタ画面の重量の小数以下表示桁数を指定します(0~4)
長さの小数以下表示桁	●		伝票入力画面やマスタ画面の重量の小数以下表示桁数を指定します(0~4)
規格・型番名称	●		商品の規格・型番のタイトルを変更できません
得意先区分名1	●		得意先区分1のタイトルを変更できます。変更すると関連する画面や帳票のタイトルが切り替わります。
得意先区分名2	●		得意先区分2のタイトルを変更できます。変更すると関連する画面や帳票のタイトルが切り替わります。
得意先区分名3	●		得意先区分3のタイトルを変更できます。変更すると関連する画面や帳票のタイトルが切り替わります。
得意先区分名4	●		得意先区分4のタイトルを変更できます。変更すると関連する画面や帳票のタイトルが切り替わります。
得意先区分名5	●		得意先区分5のタイトルを変更できます。変更すると関連する画面や帳票のタイトルが切り替わります。
仕入先区分名1	●		仕入先区分1のタイトルを変更できます。変更すると関連する画面や帳票のタイトルが切り替わります。
仕入先区分名2	●		仕入先区分2のタイトルを変更できます。変更すると関連する画面や帳票のタイトルが切り替わります。
仕入先区分名3	●		仕入先区分3のタイトルを変更できます。変更すると関連する画面や帳票のタイトルが切り替わります。
仕入先区分名4	●		仕入先区分4のタイトルを変更できます。変更すると関連する画面や帳票のタイトルが切り替わります。
仕入先区分名5	●		仕入先区分5のタイトルを変更できます。変更すると関連する画面や帳票のタイトルが切り替わります。

各項目説明:

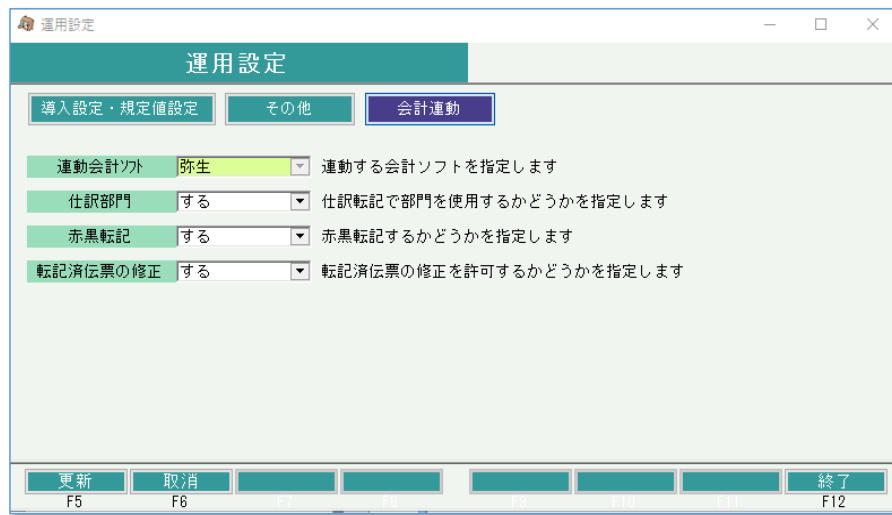
項目名	必要時 設定	通常は 設定不要	説明（下線箇所は選択値の初期設定値です）
商品区分名1	●		商品区分1のタイトルを変更できます。変更すると関連する画面や帳票のタイトルが切り替わります。
商品区分名2	●		商品区分2のタイトルを変更できます。変更すると関連する画面や帳票のタイトルが切り替わります。
商品区分名3	●		商品区分3のタイトルを変更できます。変更すると関連する画面や帳票のタイトルが切り替わります。
商品区分名4	●		商品区分4のタイトルを変更できます。変更すると関連する画面や帳票のタイトルが切り替わります。
商品区分名5	●		商品区分5のタイトルを変更できます。変更すると関連する画面や帳票のタイトルが切り替わります。
商品分類名1	●		商品分類1のタイトルを変更できます。変更すると関連する画面や帳票のタイトルが切り替わります。
商品分類名2	●		商品分類2のタイトルを変更できます。変更すると関連する画面や帳票のタイトルが切り替わります。
商品分類名3	●		商品分類3のタイトルを変更できます。変更すると関連する画面や帳票のタイトルが切り替わります。
商品分類名4	●		商品分類4のタイトルを変更できます。変更すると関連する画面や帳票のタイトルが切り替わります。
商品分類名5	●		商品分類5のタイトルを変更できます。変更すると関連する画面や帳票のタイトルが切り替わります。
商品分類名6	●		商品分類6のタイトルを変更できます。変更すると関連する画面や帳票のタイトルが切り替わります。



項目名称	説明
入金伝区	使用するチェックをONにすると、入金入力で利用できる伝区を増やすことができます。 伝区略名には任意の文字 全角3文字(半角6文字)を指定できます。
振込型追加1、 振込型追加2	入金入力で 振込型の伝区は、入金口座、入金額が指定できます。 値引型の伝区は、入金額が指定できます。(内部的に入金額で内税計算され、税が算出されます)
値引型追加1、 値引型追加2	

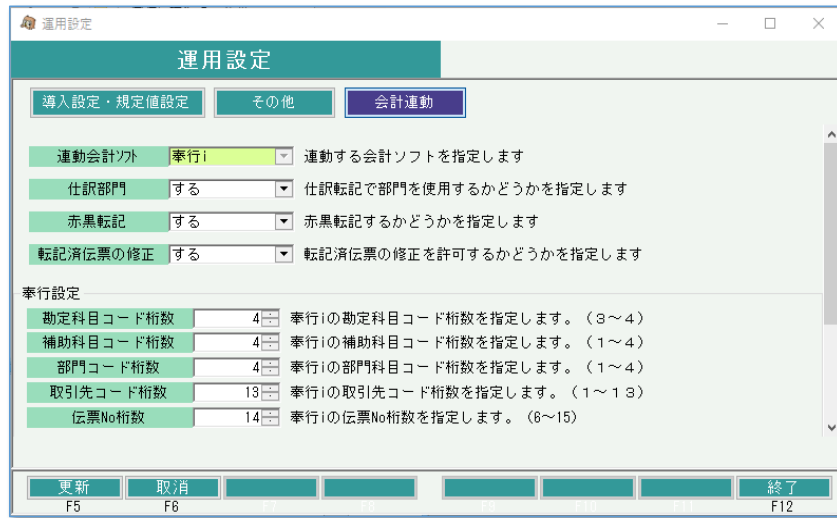
■ 会計連動設定

1) 「弥生会計」連動で導入されている場合



項目名称	説明
連動会計ソフト	「弥生」固定となります。
仕訳部門	会計連動を行う場合、部門を使用するかどうか選択できます。 「する」にした場合は、部課マスタにて「弥生補助」を指定できるようになり、会計側の部門がマスタに指定できるようになります。
赤黒転記	会計ソフトへの仕訳連動を使用している場合、伝票修正、削除時に赤黒伝仕訳(修正仕訳)作成を行うかどうかを選択します。 ※すでに登録されている伝票が存在する場合、変更はできません。
転記済み伝票の修正	会計ソフトへの仕訳連動を使用している場合、転記済みの伝票の修正を認めるか認めないかを選択します。

2) 「勘定奉行i8」連動で導入している場合



項目名称	説明
連動会計ソフト	「奉行i」固定となります。
仕訳部門	会計連動を行う場合、部門を使用するかどうか選択できます。 「する」にした場合は、部課マスタにて「奉行補助」を指定できるようになり、会計側の部門がマスタに指定できるようになります。
赤黒転記	会計ソフトへの仕訳連動を使用している場合、伝票修正、削除時に赤伝黒伝仕訳(修正仕訳)作成を行うかどうかを選択します。 ※すでに登録されている伝票が存在する場合、変更はできません。
転記済み伝票の修正	会計ソフトへの仕訳連動を使用している場合、転記済みの伝票の修正を認めるか認めないかを選択します。
勘定科目コード桁数 補助科目コード桁数 部門コード桁数 取引先コード桁数 伝票No桁数	勘定奉行側で設定している各項目の桁数を設定します。

※「大蔵大臣」で導入されている場合、担当SEまでご確認ください。